

平成 21 年 8 月 25 日

各 位

上場会社名 株式会社アールテック・ウエノ  
(コード番号：4573 大証ヘラクレス)  
本社所在地 東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 7 号  
代 表 者 代表取締役社長 真島 行彦  
問 合 せ 先 ビジネスマネジメント部長 中村 宏司  
電 話 番 号 03 (3596) 8011

## 網膜色素変性に対する UF-021 0.15% 第 2 相臨床試験の症例登録完了のお知らせ

当社は、イソプロピルウノプロストン 0.15% (社内コード UF-021, レスキュラ®点眼液 0.12% の有効成分) の網膜色素変性に対する適応拡大のための第 2 相臨床試験を、平成 20 年下期から全国 6 か所の専門施設の多大なご協力を得て実施しております。このたび症例登録が完了しましたのでお知らせいたします。

症例登録が早期に完了したばかりでなく、すでに実施している試験の結果からも重大な副作用の報告はなく、中止例も少なく、極めて順調に進行しております。来春には試験を完了し、速やかにデータ解析評価を行って参ります。

網膜色素変性は遺伝性の疾患であり、国内の患者数は 5 万人に満たないと推定されますが、進行すると薄暗いところでものが見えにくくなるなどの進行性夜盲や、視野狭窄・視力低下をきたし、末期には高度の視力低下あるいは失明に至ることもあります。また、難病指定を受けているにもかかわらず適切な治療薬や治療法が確立していない疾患であり、早期に治療薬や治療法の確立がのぞまれています。

適応拡大を進めておりますイソプロピルウノプロストンは、緑内障・高眼圧症治療薬 (当社商品名 レスキュラ®点眼液 0.12%) として 1994 年に発売開始しており、培養細胞や動物モデルを用いた基礎試験や臨床研究の結果から神経保護作用や眼循環改善作用が認められています。さらに、一部の大学病院から網膜色素変性の患者様で効果がみられたとの学会報告がなされていることから、当社は、本薬を網膜色素変性の患者様の Quality of Vision 向上に貢献しうる新しい治療薬とするべく開発を進めて参ります。

### ・株式会社アールテック・ウエノについて

株式会社アールテック・ウエノは 1989 年 9 月、医薬品の製造販売、研究開発を目的に設立された製薬ベンチャー企業です。医学博士でもある社長のもと「Physician-Oriented New Drug Innovation」(臨床医による新薬開発)をテーマとし、これまで有効な治療薬のない眼科・皮膚科疾患をターゲットに新薬の開発を行っております。

当社の主力製品であるレスキュラ®点眼液 0.12%は、創業者の上野隆司博士が 1980 年代に発見した「プロストン」を世界で初めて活用した緑内障・高眼圧症の治療薬として 1994 年より日本において発売されています。

レスキュラ®点眼液 0.12%は、眼局所及び全身性の副作用が少なく、1 日 2 回の投与で安定した眼圧下降作用をもたらし、視神経保護作用と眼血流増加の作用メカニズムによりすぐれた治療効果を発揮します。

当社は 2009 年 4 月レスキュラ® (イソプロピルウノプロストン) について『Sucampo Pharma Americas 社』と米国およびカナダにおける緑内障及び高眼圧症の販売承認及び販売権の譲渡、関連特許のライセンス、並びに同製品の独占的な製造供給についての契約を締結しています。

以 上